

令和4年度

# 赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和4年11月30日(水)

校長 高橋 励

## 師走(しわす)を迎えます。

先日、ラジオで、人間以外の動物にも“節目”という時間の感覚はあるのか？という話題が取り上げられているのを耳にしました。

暦は11月が終わり、あとひと月で新しい年を迎えます。一つの“節目”ですね。

また、日本の学校は4月始まりで3月終わり。それもまた“節目”。中学校の運動系の部活動の多くは、4月スタートで2年と4ヶ月+α。3年生夏の総合体育大会を終えて一区切り。これも“節目”。

前期・後期の定期テストや学習評価も、学校での学習の“節目”になっています。今日は後期中間テスト1日目。1,2年生のお子さんは、自分の学んだことを“節”のように“ぎゅっと圧縮”する機会としてこの1週間を使えていたでしょうか？

ところで、チョウが幼虫からさなぎを経て羽化するまでの間で、さなぎの時期はとても大きな変化が起きているのだと、昔なにかの本で読んだことがあります。外から見れば身を固めてじっとしている様子ですが、その内側は肉体が溶けたと思えるほどの変化なのだ。チョウとして独り立ちする(あるいは意味“オトナ”になる)ために必要な、さ

まざまな力が出せるように変身するのだと(完全変態と呼ぶそうですね)。

さて。チョウにとってはさなぎになることが一つの“節目”なら、それに当たるヒトにとっての“節目”とはいつでしょう？

一日、一週間、ひと月、一年、そして、入学と卒業。さまざまな“節目”を誰もが通り過ぎていきます。変化にはとても大きなエネルギーが必要となるため、短い“節目”でみるとじっとしているように見える場合もなかにはあるでしょう。でも、どんな子どもも“オトナ”になるために変化を続けているものです。その変化を支えるモノの一つに「自尊心」と呼ばれる心のエネルギーがあります。これはヒトとのかかわりのなかで一人ひとりのヒトの内に“育まれる”大切なモノですが、勘違いしたまま理解されていることもあるようです。そんな自尊心についてわかりやすくお話しくださる講師の講演会の案内です。お気軽にご参加ください。

令和4年度 茅ヶ崎市教育講演会

先着  
90名

子どもに寄り添うということ

～自尊心の大切さ～

講師

近藤 卓 氏(日本ウェルネススポーツ大学教授)

日時会場

1月21日(土) 10:00~12:00

市役所本庁舎4階会議室

申込み

12月15日より(HP・電話・FAX)

☎(86)9965 FAX(88)1394

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kyouiku/1005049/index.html>

教育センター主催



Dear Student(\*^\_^\*)

“チームおはよう”メンバーのあいさつのバリエーションは多様です。一度ピタッと立ち止まってくれる人、コースを変えて一歩歩み寄ってくれる人、数人で声を合わせてあいさつをしてくれる人、声は控えめだけどしっかりとアイコンタクトをしてくれる人などなど。それぞれがそれぞれのレベルアップをしているのが頼もしいかぎり。今後は楽しみです>(\*^\_^\*)